

2009年末賞与の見通し ～前年比二ケタのマイナスへ～

- (1) **今冬の賞与を展望すると、民間企業の1人当たり支給額は、前年比▲10.4%**と夏季賞与の▲9.7%に続き大幅に減少する見通し(図表1)。夏季に▲16.4%であった製造業は▲13.8%と引き続き大幅マイナス、▲8.1%であった非製造業は▲9.6%とマイナス幅が拡大する見込み。
- (2) **背景には、企業収益の悪化傾向の広がり。**年末賞与を大きく左右する09年度上期の企業業績(見込み値)をみると、大企業では、製造業が赤字から脱する見込みながら、低水準が持続。一方、中小企業では、むしろ収益が悪化(図表2)。
- (3) 支給労働者割合は、前年の85.4%から2.5%ポイント低下して82.9%となる見込み(図表3)。このため、**支給総額は▲15.0%と大きく落ち込む見通し**(図表4)。
- (4) なお、国家公務員は、▲6.4%となる見込み(図表1再掲)。異例の臨時勧告に基づく夏季賞与の引き下げに続き、年末賞与も前年の2.35ヵ月分から2.20ヵ月分に引き下げられるため。

図表1 2009年末賞与の見通し

	民間企業		国家公務員	地方公務員	
	製造業	非製造業			
2009年度夏季(実績)					
支給額(万円)	36.3	43.5	34.6	57.4	54.1
前年比(%)	▲9.7	▲16.4	▲8.1	▲8.9	▲9.6
2009年度年末(予測)					
支給額(万円)	38.0	43.9	36.5	64.9	61.0
前年比(%)	▲10.4	▲13.8	▲9.6	▲6.4	▲6.9

(資料)厚生労働省、総務省、人事院
(注)予測は日本総合研究所作成。以下同じ。

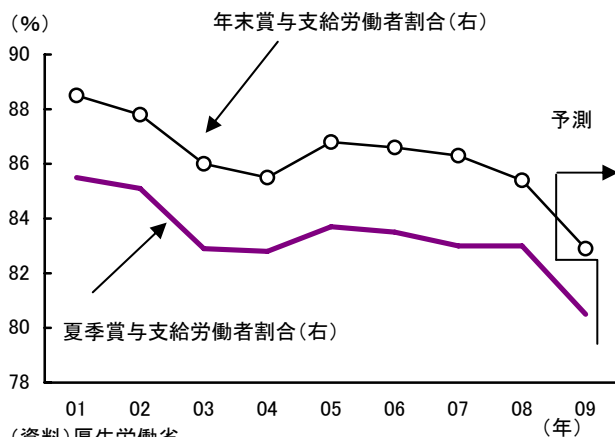
図表2 経常利益の見通し(日銀短観9月調査)

	(前年比、%)	
	08年度下期(実績)	09年度上期(見込み)
大企業	▲78.4	▲67.0
製造業	欠損	▲94.6
非製造業	▲42.5	▲38.6
中小企業	▲46.4	▲54.1
製造業	▲89.8	▲91.6
非製造業	▲30.5	▲34.7

(資料)日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

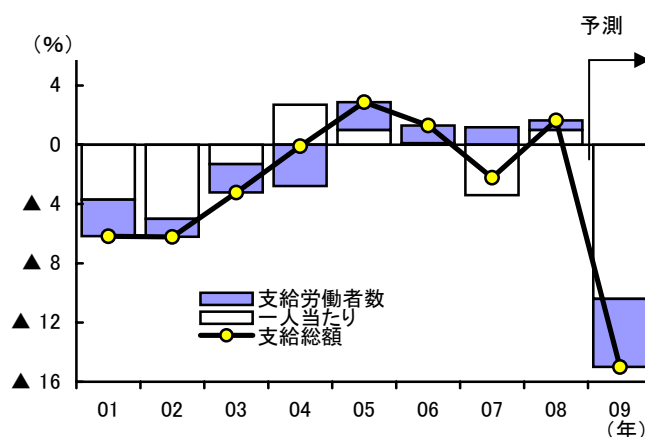
(注)09年度は9月調査の見込み値。

図表3 賞与支給労働者の割合



(資料)厚生労働省

図表4 年末賞与支給総額の内訳



(資料)厚生労働省